

トルコ為替週報

2022年9月6日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去2週間の動き〉

(8月23日～9月5日)

USD/TRY: 18.0955～18.2400

TRY/JPY: 7.50～7.72 (参照値)

過去2週間のトルコ・リラ相場は、対ドルで、不自然な上下動を織り交ぜながら、基調はほぼ一方的なリラ安推移。10営業日の下落幅は僅か0.62%(23日の欧州時間終値18.1130→5日の同18.2250)で、近年のリラの値動きとしては膠着と言える値幅にとどまった。この間、トルコ中銀は、30日に、外貨預金からリラ預金への転換を(年率?)10%以上の促せなかった銀行に対して+5%ポイント、同10～20%しか達成できなかった銀行に同+3%ポイント、保有外貨預金に対する預金準備率を引き上げると発表。更に、1日、全預金に対するリラ建預金の比率が50%を下回る銀行に対し、外貨預金準備に対して年間3%の手数料を課すと発表。立て続けに、外貨預金からリラ預金への転換を促す実質的資本規制を導入した。前後して、上述の通り、リラの軟調基調は変わらなかった。前者の適用は9月16日以降とのことなので、或いは、今後、外貨預金からリラ預金への転換が進み、それがリラ高/ドル(外貨)安につながるのかもしれない。他に、31日発表されたトルコ第2四半期GDPは、個人消費の活況(前年比実質+22.4%)を背景に、市場予想を上振れたとの評価。5日発表されたトルコ8月CPIは、小幅ではあったが市場予想を下振れた(後述)。いずれも敢えて選ぶなら、リラが好感できるはずの数字だったはずだが、リラの反応は見られなかった。

〈過去2週間に発表された主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
8/25	7:00	設備稼働率	8月	76.7%		78.2%
8/29	7:00	貿易収支(USD)	7月	-10.69bn	-10.60bn	-8.20bnr
8/31	7:00	GDP(前年比)	Q2	+7.6%	+7.4%	+7.5%r
9/5	7:00	CPI(前年比)	8月	+80.21%	+81.20%	+79.60%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉

(9月6日～9月12日)

USD/TRY: 18.180～18.280

TRY/JPY: 7.60～7.75

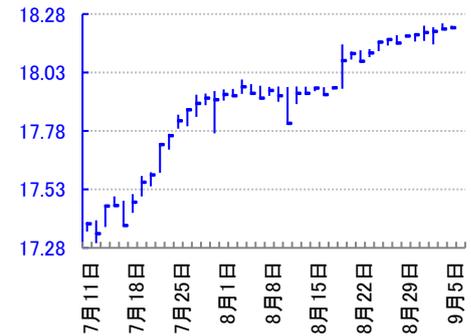
向こう1週間のトルコ・リラ相場は、足元軟調推移の継続を予想。第2四半期GDPの強い伸びは、個人消費に支えられたものだが、空前の実質マイナス金利に加え、最低賃金の大幅引き上げ(1月に+50%、7月に追加で+30%)などが消費底上げに貢献したはず。ただし、これらはいずれも物価押し上げ要因。例えば、当該四半期に、クレジットカードを使用した消費は前年比+112%の伸びを示したが、物価が前年比+80%前後で急騰する環境で、借入金利が+27%程度に規制されていたら、借金をしてでも、今、物(とりわけ耐久財)を買っておこうというのは当然の消費者心理と言えよう。これは「需要の先食い」であり、今後の消費が枯渇する可能性は現実的に懸念される。それ以上に不安を抱くのは、公式統計に対する不信。トルコ物価統計が「生活実感と乖離している」という声は従前から聞かすが、1日発表されたイスタンブール8月CPIは前年比+99.91%へと上伸(注1)。商都の物価と全国の物価が乖離するのは、勿論あり得ることだが、統計局副総裁二人が更迭/新任された3月以降(注2)、両物価統計の乖離が急速に広がったのは事実(右図)。万が一、物価統計があてにならないとしたら、残念ながら、実質GDP統計(注3)も、あてにはできない。高インフレとリラ安を度外視して、消費と輸出主導の経済成長を目指すエルドアン大統領の戦略は、現在まで奏功しているように見えるものの、①そのこと自体、リラ安の継続を示唆する ②今後の需要(成長)減速が警戒される ③統計への不信が対内証券/直接投資の一段の減速に結び付く懸念、などといった観点から、引き続き、リラ安継続を見通しの中心に据えざるを得ない。

〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
9/12	7:00	経常収支(USD)	7月			+3.46bn
	7:00	失業率	7月			10.3%

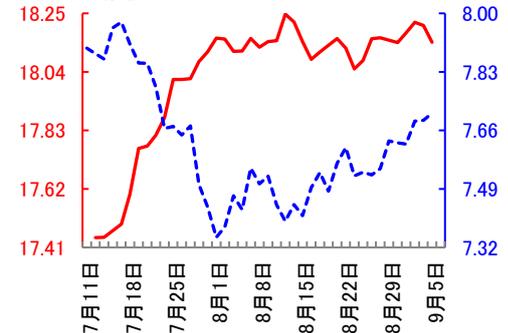
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

USD/TRYの推移 (日足/ロンドン 7:00～17:00)



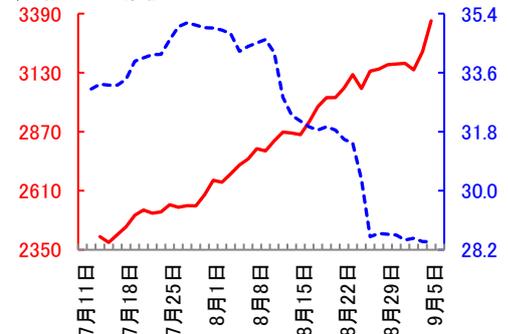
バスケット/リラの推移 (トルコ中銀公示)

リラ/円の推移 (ロンドン17:00)



株式市場の推移 (ISE 100種指数)

長期金利の推移 (5年物OIS金利)



(資料: トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1週間物レボ金利		13.00%
成長率(GDP/前年比)	Q2	+7.6%
失業率	6月	10.3%
消費者物価(前年比)	8月	+80.21%
鉱工業生産(前年比)	6月	+8.5%
小売売上高(前年比)	6月	+5.5%
貿易収支(USD)	7月	-10.69bn
経常収支(USD)	6月	-3.46bn

(注1) イスタンブール商工会議所発表

(注2) 今年1月のトルコ統計局総裁更迭/新任に続いて

(注3) 名目GDPから物価上昇率(GDPデフレーター)を差し引いて算出する